

# 千葉



千葉支局 〒260-0013  
 千葉市中央区中央4-15-1  
 電話043-225-2001 F a x 225-2190  
 メール chiba@yomiuri.com

成田分局 〒282-0011 成田空港内私書箱201  
 電話0476-32-5810 F a x 32-9777

成田支局 0476-28-7911

京葉支局 〒273-0011 船橋市湊町2-5-1  
 アイカワビル5F  
 電話047-431-2648 F a x 431-0213

柏支局 〒277-0005 柏市柏260-3  
 電話 04-7166-0303  
 F a x 7166-0660

市川通信部 047-431-2648  
 木更津通信部 0438-22-2377  
 茂原通信部 0475-22-2524  
 松戸通信部 047-364-6271  
 銚子通信部 0479-22-0154  
 館山通信部 0470-22-0363  
 いすみ通信部 0475-22-2524  
 香取通信部 0478-52-2954

ホームページ  
[www.yomiuri.co.jp/local/](http://www.yomiuri.co.jp/local/)

購読は  
**0120-4343-81**

千葉 043-224-1800  
 船橋 047-333-5833  
 柏 04-7146-0888  
 成田 0476-22-7466



ミシンでマスクを仕上げる岡さん。手前はメンバーが持ち寄った手作りマスク（船橋市にある市川友の家で）

## 手作りマスク 生活の知恵

「市川友の会」提供

新型コロナウイルスの感染拡大で購入が難しくなっているマスクを高齢者施設などへ届けようと、子育てや衣食住の研究をしている「市川友の会」の会員が未使用の布地などを材料にマスク作りに励んでいる。

同会は雑誌「婦人之友」の愛読者で作る「全国友の会」の地方組織で市川、船橋、浦安、習志野、八千代、

### さらに、ストッキングも活用

鎌ヶ谷、佐倉市の女性約270人が加入する。マスク作りが本格化したのは先月末。マスクを求めてドラッグストアに早朝から行列ができるニュースを見て「衣の研究グループ」（12人）のメンバーを中心に「手作りマスクを必要な人たちに提供しよう」と型紙作りや材料集めを始めた。

生地は家族の服を作ろうと、買いためていた木綿の布地や雑貨店を回って安く仕入れたガーゼやさらしを充てている。マスク用のゴムひもも雑貨店などで品切れになっっているケースが多いため、ストッキングを細く切ってゴム代わりにするなどみんなでアイデアを出

し合っているという。これまで折り目のあるプリーツ（ひだ）型や立体式など4種類、約70枚ができた。リーダーの岡みどりさん（68）は、「数を増やして高齢者施設などマスクが入手できず困っている皆さんに提供したい」と話している。問い合わせは同会（047-474-7687）、またはHP（ホームページ）から。

**マスク1万4000枚 鎌ヶ谷市配布へ**  
 病院や福祉施設

鎌ヶ谷市は23日から市内の医療機関や福祉施設に対し市が保有しているマスク約1万4000枚を配布する。対象は診療所56か所、病院5か所、通所リハビリ施設など社会福祉施設64か所。